

2019

5

月号

ぶうげん  
びりあ  
No.309ホームページ <http://www.hahashouchu.ogasawara.ed.jp/>

## 働き方改革

校長 新妻 茂

平成31年1月25日、中央教育審議会は文部科学大臣に対して、「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」を答申しました。これを受けて3月18日、文部科学省は「学校における働き方改革に関する取組の徹底について（通知）」を発出しました。これは答申を受けた文科省が本気になって働き方改革を進めるぞという強力なメッセージになっています。

先月16日には、東京都教育委員会が平成31年度教育施策連絡協議会を各区市町村教育委員会関係者と公立学校（園）長を対象として実施しました。その中でも「学校における働き方改革」をテーマとしてパネルディスカッションが行われました。答申や通知等を読みながら、また、パネルディスカッションの様子を見て考えたこと等についてふれてみたいと思います。

これまで学校現場では、教員が何時に出勤して何時に退勤したか、あるいは学校に何時間いたかということについて正確に把握されていませんでした。それらを踏まえて村教委でもその実態を把握するために今後タイムカード等の導入を検討しています。

しかし、重要なことは教員の意識改革だろうと思います。教員の中では、仕事が終わったから退勤しようという意識があります。だから終わらなければだらだら学校に残るということになります。これを、今日は何時に退勤するからそれまでに仕事を終わらせようという発想に変えていかなければなりません。かつてトリンプの社長をされていた吉越浩一郎さんが「時間内に終わらなければ残業すればいいという考え方を徹底的に排除し、デッドラインを設定し、時間内に仕事を片付ける習慣をつけることが大事だ。残業をなくせば会社は伸びる」と言われていたことを思い出しました。

とは言うものの、学校には子どもがいていろいろなことが起こります。いろいろなことが学校の中に持ち込まれて、それらのことに対応するのも教員です。しかし、「子どものためであればどんなに長時間勤務してもよい」という働き方はこれからは通用しません。保護者や地域のみなさんのご理解を得なければならないことも多々ありそうです。

意識改革ということではもう一つ気になることがあります。人間が一生の間でさがし物に費やす時間は52日分だそうです。時間にすると1248時間です。これを多いと見るか少ないと見るか意見の分かれるところですが、なるべく少なくした方が効率はよくなるというのは確かです。そのために必要なのは整理整頓でしょうか。さて、母島小中学校の教員の机上や周りの棚等はどうなっているのでしょうか。父島の中学生に、「何か新しく事を始めようと思ったら、大事なことは3Sだ」と言ってきました。これは単に私が言っているのではなく、東京3S研究会というのがあって、中小の異業種の企業が取り組んでいることです。3Sとは整理・整頓・清掃のことです。

いずれにしても、この働き方改革が、今よりもよりよい教育を行っていくためにあるのだということを見失わないことが大事だろうと思っています。

### 校長

朝夕のははしま丸の汽笛を聞くたびに、懐かしい思いでいっぱいになります。母島での日々は、青い空、緑の芝生、子供たちの輝く笑顔とともに鮮やかに心に焼き付いています。素直で明るい子供たちに、いつも「校長先生！」と声をかけてもらい、「笑顔」と「あたたかさ」に包まれて、2年間、幸せな時間を過ごすことができました。今でも50キロメートル先の母島から子供たちの元気な笑い声が聞こえてきそうです。これからもずっと子供たちが頑張る姿を見守ってきたいなあと思います。そして、父母学習交流会などでたくましく成長した子供たちにまた会うのを楽しみにしています。

これまで温かいご支援とご厚情をお寄せくださいました保護者、地域の皆様、本当にありがとうございました。

### 小学校教諭（昨年度1年担任）

この文章をどなたが読むのか。そう考えただけでも、様々な方の顔や思い出が浮かんできます。担任の四年間、中庭タイム、フォルサ、大人サッカー、女子フットサル、ガジュ下、数々の夜の会…。一つ一つの言葉だけでも、そこから広がる思い出の先には、心動かされる数々の思い出があります。そんな幸せな時間を過ごせたのは、皆さんのおかげです。本当にありがとうございました。また会えるその時までには自分自身が今を更に楽しんでいたい。そう思い、新たな一歩を踏み出しています。母島で出会えたこと、特別な思い出ができたことは、私だけでなく、愛子、優太にとっても大切な宝物です。また母島か内地でお会いできる日を楽しみにしています。家族共々、大変お世話になりました。

### 小学校教諭（昨年度6年担任）

新しい土地での生活がスタートして3週間が経過しました。片側二車線の幹線道路を自転車で通勤中、母島での通勤中の光景をよく思い出します。右手に海を見ながら、すれ違う人は皆知っている人で、ガジュ下では朝の洋服をしている人達がいて、その1人1人に笑顔で挨拶をしてスタートする毎日。母島の生活が夢だったと錯覚するほど、今の現実以前の生活とは遠いところにあります。

母島にいた4年間は自分の人生にとって最も大切な4年間となったことは間違いありません。普段の学校生活、自然を全身で感じられた校外学習、村の行事など、どれも心の底から楽しむことができました。母島の1番の魅力は人との繋がりです。子供たち、先生方、保護者の方々、地域の方々1人1人と深く関わることができました。4年間本当にありがとうございました！また必ず戻ります！

### 小学校事務

母島小中学校では5年間お世話になりました。父島の小笠原中学校の1年を含めると、小笠原に6年間在職しました。母島小中学校の保護者ならびに島民の方々、関係機関の方々には学校行事等へのご協力、ご支援をいただきありがとうございました。個人的にも母島の暖かい気候と同じく島民の方々に暖かく接していただき感謝しております。願わくばもっと若い年代のうちに母島に赴任できたなら更にアクティブに活動できたのではと思います。20代30代の先生方、どんどん自身から行動力を発信して母島を盛り上げてほしいと思います。末筆ながら、母島小中学校保護者の方々及び教職員の方々、ならびに島民・関係機関の方々のご健勝をお祈り申し上げます。

### 中学校国語科

思えば異動先が小笠原であると告げられた時、その場所すら知識として持ち合わせていませんでした。私にとっては未知の土地が母島でしたが、母島の生活を経て、その素晴らしさを実感していきました。

久しぶりに帰った故郷では、まるで自分のもうひとつの故郷であるかのように島の素晴らしさを自慢げに話すようになっていました。同僚の先生に誘っていただいた初めての海釣り、グリーンペペが見せる不思議な森の様子や初めてのシュノーケリングで体験した感動的な世界。何よりも島民のあたたかい眼差しの中、子供たちが子供らしく笑顔を絶やさず生きることができる環境の素晴らしさを熱く語る自分がいました。

海で魚を捕り、田畑で作物を育て山の恵みを享受する。人が集い互いに支え合う。頬を撫でる風を感じ、降り注ぐ太陽の日差しに、大地を潤す雨に、感謝する。そういうシンプルな人の営みが母島にはありました。人が人らしく生きることができる場所が母島でした。

初めて降り立った港で迎えてくれた子供たちや教員、島民の方々。その時の光景が、今も私の脳裏に焼き付いています。それからの3年間は、私が一人の教員であること、私が私であることを考えることができた人生最良の時間でした。母島で出会った全ての人に感謝するとともに、皆様のご多幸をお祈りしています。本当にありがとうございました。

### ALT

These past two years have been some of the best years of my life.

I got to experience a new culture that not many people get to experience.

I met new people and a wonderful community that made me feel welcomed.

I worked with dedicated, hard-working teachers and I taught some really amazing students.

Every lesson was fun and exciting, and I hope I was able to make learning English fun and exciting for students.

Even though I am seeking a new challenge, I will never forget this place.

Thank you Hahajima Elementary and Junior High. Thank you students. Thank you teachers.

Thank you people of Hahajima. Thank you for everything.

(母島で過ごした2年間は、人生の中で最も素晴らしい時間でした。多くの方が経験できないような島の文化を体験することができ、温かく迎えてくれる素敵な島の人々と出会うこともできました。母島小中学校では、仕事熱心な先生たちや素晴らしい生徒と一緒に仕事をすることができました。すべての授業がおもしろく、わくわくするものでした。子供たちが楽しく英語を学んでくれた、と信じています。

新しい場所へと旅立ちますが、母島のことは決して忘れません。母島小中学校のみなさん、母島のみなさん、本当にどうもありがとうございました。)

# 新しいもの、新しいこと いっぱい

小学校 1 年担任

4月9日、緊張した面持ちで中学1年生と手をつなぎ、体育館に入場してきた6人の新1年生。「この6人の子供たちと、これから1年間を過ごすのだ」と私自身も身の引き締まる思いでした。新しい教室、新品のランドセル、初めて手にする教科書、買いそろえていただいた筆記用具等・・・そしてたくさんの人との出会いも新しいものだったと思います。入学当初は6年生が朝の登校時にお迎えに来てくれて、教室での身支度も手伝ってくれました。何をするにも初めてで戸惑いながら少しずつ色々な事を覚えている毎日です。今は6年生のお迎えもなくなり、兄弟や近所に住む上級生と登校できるようになりました。

学校では今「話を黙って聞く」「授業中は席に着き、立ち歩かない」「廊下は歩く」など学校の決まりを覚え、身に着けようとしているところです。この時期に身に着けたことは、学校生活をしていく中で「当たり前ができるようになる」と考えています。よい習慣にして欲しいです。

さて、5月には入学後初めての大きな行事である運動会があります。ここでも覚えることがたくさんです。時にはうまくできなかったり、失敗したり、我慢しなければいけなかったりと嫌になってしまうことがあるかもしれません。しかし、頑張っってやり切った時の達成感は格別なものとなるでしょう。そして、1年生のことを見守り励ましてくれる上級生のみんなや教職員、地域の方々があります。「全学年で取り組む行事はとても楽しい」ということが実感できる行事となるよう支援していきます。

# 新しい教室、新しい世界

中学校1年担任

赴任の日、「おがさわら丸」から「ははしま丸」へ乗船し、母島へと向かいました。港に近づくにつれて、母島の皆さんの姿が見えてきました。航海の最中は期待とともに不安の気持ちもありましたが、到着後皆さんに温かく迎えていただいて感謝の気持ちでいっぱいになりました。

入学式までの日々は、忙しさに追われて、あっという間に過ぎていきました。その中でも、新1年生のことはずっと気になっていました。「一体どんな6人なのだろう……。」小学校では雪国の山間部で育ち、同級生も6人だった自分自身にとって、親近感もありました。

入学式、新1年生6名が入場してきました。朝陽くん、沙季さん、一颯くん、ゆき奈さん、侑花さん、秀那くん、皆、緊張した面持ちながらも少し誇らしげです。小学校の新1年生の手を引いて入場する姿は、本当に中学生らしく、堂々としていました。

入学式の後、初めての学活で自己紹介をしました。自己紹介では、小学校の時の様子を知らない私にもわかるように、一人ひとりが丁寧に話してくれました。自己紹介でのやり取りの様子から、6人がとても明るく、チームワークが良いことにも気づきました。

中学校生活が始まると、新しい教室でも打ち解けた雰囲気になってきました。中学校の先輩たちと笑顔で話したり、昼休みには中庭で小学生と駆け回ったり、いつも元気で、前向きに取り組む6人の良い面が、少しずつ分かってきました。3月まで過ごした世界と、大人に一步近づく中学生としての新しい世界を行き来する6人を、時にはうらやましいとも思いました。

これからの学校生活では、学年の「平島校外学習」、学校行事「運動会」があります。中学生は大きな行事を通して、驚くほど成長します。中学生としてどんな成長を見せてくれるのか、今からとても楽しみです。

様々な新しいことに出会い、挑戦していく中で、失敗することもたくさんあります。しかし、困難に直面した時に、簡単にあきらめずにぶつかっていく強さを、6人には身に付けてほしいと願っています。「6人だったら、きっと周囲の方から叱咤激励されながら力を合わせて、どんなことも乗り越えていくのだろうか……。」3年後、それぞれが笑顔で卒業していく姿を想像しながら、ともに学校生活を送っていきたいと考えています。



## 5月の生活指導

### 生活目標

#### 「お互いを大切にしよう」

- ・あいさつ、正しい、言葉づかいをしよう。
- ・協力して運動会に向けて練習しよう。
- ・思いやりの心をもとう。
- ・悩みごとは、周りの人に相談しよう。

### 安全指導 7日(火)

指導項目は、「けがに対する注意とけがをした時の対応、海での遊び方」です。遊具の使い方や体育館・校庭等での安全な遊び方について確認します。また、けがをしたときの適切な対処について指導します。海での遊びのルールについても確認をします。

〈海に遊びに行くときのルール〉

小学生は保護者または同等の大人と一緒にいく。

### 避難訓練 22日(水)

大型の台風の接近を想定した児童生徒の緊急集団下校訓練を行います。

集団下校班を確認し、教員の指示の下、安全に注意しながら下校させます。

## 第45回運動会について

○日時

令和元年5月19日(日)

午前9時00分～午後3時30分

(雨天の場合)

- ・5月26日(日)、5月27日(月)に順延します。

雨天順延の場合 5月19日 平常授業

○お願い

- ・車でのご来校はご遠慮ください。
- ・学校敷地内は禁煙です。
- ・天候などにより、競技開始時間が変更、または中止になることがあります。

## 学校施設の使用について

○学校施設の使用を希望される方は、「学校施設使用申請書」に必要事項を記入して、本校職員室までご持参ください。

○「学校施設使用申請書」は、本校職員室にお申し出ください。

○年間を通しての使用を希望される場合は、来年4月の学校施設使用団体の代表者会議にご出席いただきます。事前にお申し出ください。

〈緊急連絡メールについて〉

5月22日(水)に、台風接近を想定した集団下校訓練を行います。そして訓練の中でメール登録をいただいている保護者の皆様にメールを配信します。そこで、5月8日(水)にメール配信テストを行います。もしメールが届かない、あるいは不都合なことがございましたら、学校までご連絡ください。

5月の主な行事予定				16	木	運動会予行(予備)	SC 在島終
1	水	即位の日		17	金	運動会前日準備	
2	木			18	土		
3	金	憲法記念日		19	日	第45回運動会	
4	土	みどりの日		20	月	振替休業日	
5	日	こどもの日		21	火	読書週間始 (全)セーフティー教室	
6	月	振替休日		22	水	避難訓練(集団下校) 星空観察会 3~6年	
7	火	朝礼(安全指導) (全)眼科検診		23	木		
8	水			24	金	読書週間終	
9	木	周辺美化		25	土		
10	金	家庭訪問(終) プール清掃(小4,5,6)		26	日		
11	土			27	月	行事前検診(中3)	
12	日	PTA総会・歓迎会		28	火	修学旅行始(中3)	
13	月	朝礼(保健指導)		29	水	南崎校外学習(小1,2)	
14	火		SC 在島~16日	30	木		
15	水	運動会予行	SC 在島	31	金	(全)耳鼻科検診	